

事務事業 No./名称	■サービス部門 景観-04 緑政運営事業				タイムスコード及び個別事業名				
	主管課	みどり課		関連課		919	緑政運営事業		
分野名	みどり				300	緑政運営事業			
目標 (目標値)	緑の基本計画による、都市における緑とオープンスペースの整備・保全に関する総合的な事業推進								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	5,499千円	2,282千円						
	(国・県)		7千円				指標と評価		
	(負担金等)						指標		
	(一般財源)		2,275千円				評価		
	人員配置数	2.3人	2.3人						
	人件費	21,215千円	21,372千円				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	協働の パートナー						目標値	実績値	
事務事業 運営経費	総事業費	26,714千円	23,654千円	20年度					
	市民1人当 りの経費	151円	134円	21年度					
	対象者1人 当りの経費			22年度					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度					
				最終年度 (年度)					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・緑の基本計画に基づく施策の推進には、関係機関等(国・県・土地所有者等)の理解と協力が不可欠である。 ・実施計画に沿って地域制緑地の指定(都市計画決定)等の各施策を、限られた人員と予算の枠組み中で実現するには、資料作成をはじめとして効率的な作業の取り組みが必要である。							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・法制定の背景にまで及ぶ資料作成など、専門的見地に立った県との調整を進め、近郊緑地特別保全地区指定の準備を進めた。 ・効率的なスケジュール管理のもとに、特別緑地保全地区候補地内の土地所有者との調整を進め、関係機関と協議を整えたことにより、手広・笹田特別緑地保全地区を指定(都市計画決定)することができた。 ・緑政実績報告をさらに充実させて「鎌倉市のみどり(平成21年度版)」作成・公表した。							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・緑地保全施策の推進では、マンパワーと関係機関等の事情による、予定の事業工程の遅延以外に、大きな課題・問題点はなかった。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・限られた人員配置を踏まえ、さらに効率的な施策展開を図る。							
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	緑地確保が進む中で、質の高い緑とより身近な緑の保全が求められていることから、本市の財政環境を踏まえたきめ細かい取組がさらに必要である。		評価結果	改善の必要性	緑の基本計画に基づく施策は、本市の将来都市像実現の上で極めて重要なことから、今後も先進的な取組みに努めたい。			
A	有			A	有				
課長名		みどり課長 川名 達哉		部名・部長名		景観部長 土屋 志郎			